

エコフイードの取組事例 【肉用牛】

株式会社 草木ファーム

(茨城県高萩市)

県内の食品工場のもやし粕、ビール粕と飼料用米、稲WCS、乾牧草等を混合し、TMR飼料を製造。繁殖雌牛、子牛に給与し、子牛は「常陸牛」の素牛として子牛市場へ出荷。製造した飼料は「草木のTMR」として近隣の畜産農家に供給。

畜種	肉用牛繁殖	飼養頭数	繁殖:繁殖牛72頭、育成牛16頭
エコフィードタイプ	TMR(草木のTMR)	エコフィード給与量	441トン/年(混合割合50%)
エコフィード入手状況	自家配合	食品残さ収集先	食品製造工場
エコフィード原料	もやし粕、ビール粕、飼料用米、稲WCS、牧草等		
畜産物生産量	素牛:15頭/年(常陸牛)		



もやし粕は真空のフレコンバックで運搬搬入



ビール粕

【(株)草木ファーム】



TMRミキサーにもやし粕、ビール粕、飼料用米、稲WCS等を投入し、混合



TMR「草木のTMR」を製造



繁殖牛、子牛に給与
子牛は、「常陸牛」
の素牛として市場出荷



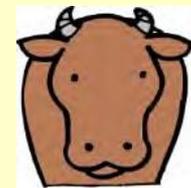
畜産農家に
「草木のTMR」を販売

石井牧場

(神奈川県三浦郡葉山町)

おから、ビール粕、自家製かまどで炊飯した米加工残さを大豆粕等と混合・乳酸菌添加し、自家配合し、肥育牛に給与。生産された肥育牛は「葉山牛」として出荷。地域の食育推進や肉用牛生産現場の啓蒙活動のため、牧場見学や学校給食への食材提供を実施。農場HACCP認証を取得。

畜種	肉用牛	飼養頭数	肉用牛:肥育牛65頭
エコフィードタイプ	混合・発酵	エコフィード給与量	168トン/年(混合割合56%)
エコフィード入手状況	自家配合	食品残さ収集先	食品製造工場等
エコフィード原料	おから、ビール粕、米加工残さ 等	畜産物卸先	市場出荷
畜産物生産量	16.5トン/年		



乳酸発酵したビール粕



おから



碎米(国産)



原料を混合



製造時に乳酸菌を添加し、飼料の保存性と嗜好性を高めている



自家製のかまどで間伐材を利用して炊飯

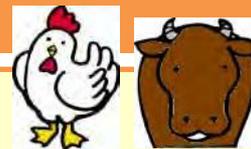
給与



肥育牛は「葉山牛」として出荷



- ・農場HACCP認証を取得
- ・小学生の社会科見学、牧場見学、学校給食への食材提供等地域の食育に貢献
- ・大学等の視察・授業の受入を行い、肉用牛生産現場の啓蒙活動を実施



大阪府立農芸高等学校

(大阪府堺市)

ビール粕やワイン粕に、備蓄米(賞味期限切れ)やふすま等を混合し乳酸発酵させた飼料「ビール粕サイレージ」及び「ワイン粕サイレージ」を経産牛に給与し、「農芸マザービーフ」として販売。また、「ワイン粕サイレージ」を採卵鶏にも給与し「なにわワインたまご」を生産する等、資源循環型畜産を実現し、エコフィード利用畜産物のブランド化に取り組んでいる。

畜種 肉用牛(経産乳牛)、採卵鶏等

飼養頭数

経産牛:10頭、採卵鶏50羽等

エコフィードタイプ

混合利用

エコフィード給与量

10トン/年

エコフィード入手状況

自家配合

食品残さ収集先

食品製造工場、ビール工場、ワイナリー

エコフィード原料

ビール粕、ワイン粕、備蓄米、ふすま等

畜産物卸先

外食産業、精肉店等

畜産物生産量

500kg/年

【大阪府立農芸高等学校】

エコフィード利用畜産物は、地域のレストラン、精肉店等に流通。地域の野菜農家や企業とも連携し、利用畜産物の加工品、販売品のブランド化を実施。



地域のビール工場から排出されたビール粕



備蓄米やふすまを混合し、乳酸発酵



ビール粕サイレージ



地域のワイナリーから排出されたワイン粕



ワイン粕サイレージ



地域の養鶏農家へ販売、給与



農芸マザービーフ



なにわワインたまご





(株)松永牧場

(島根県益田市)

(株)松永牧場では、食品残さを自ら収集・サイレージ化し、肉用牛(繁殖、肥育)や乳用牛に給与している。また、常駐している獣医師が、収集された残さの内容に合わせて生産性に留意した配合設計を行っている。加えて、飼養規模が大きいいため、食品リサイクルの実施による地域への貢献度も高い。

畜種	肉用牛(一貫経営)、乳用牛	飼養頭数	養牛:繁殖牛1,600頭、肥育牛8,900頭 酪農:搾乳牛2,200頭
エコフィードタイプ	サイレージ	エコフィード給与量	15,500ト/年 (混合割合:肥育牛10~40%、乳牛50%)
エコフィード入手状況	自家配合	食品残さ収集先	食品工場等(西日本)
エコフィード原料	おから、焼酎粕、ジュース絞り粕、野菜屑、余剰食品(フルーツ、そうめん)等		
畜産物生産量	出荷頭数3,800頭/年(肉用牛) 飲用乳23,500千L/年	畜産物卸先	スーパー(四国、関東地域)、飲食店等

西日本から
食品残さを収集。

フルーツ

焼酎粕

そうめん

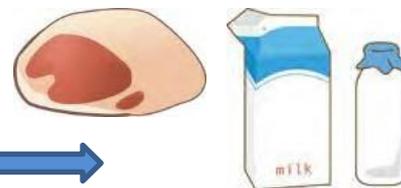
【(株)松永牧場】



収集した食品残さは、飼料用米等を混合してサイレージ化し、市販配合飼料とともに肉用牛、乳牛に給与。



エコフィードを利用する他、ソーラーパネルの導入など環境にも配慮。



畜産物は市場を介して広く流通。都内焼き肉店(当牧場と同名の焼き肉店「松永牧場」等)に提供する他、地元スーパー「キヌヤ」では、「まつなが牛」としてブランド化。また、益田市の飲食店「ちる亭」で加工した牛丼も販売。